

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している（研修の実施、相談窓口の設置）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・研修の実施、相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・社員の残業時間や休日出勤時間を管理して、長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8										
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者は在籍していない				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員向けの労働安全衛生講習会を定期的に実施し、全社員に周知徹底している ・就業中の運転事故防止のため、社員向け運転講習会を実施している（外部講師による安全運転講習）			3					8										
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・ストレスチェック（1回/年）の結果分析にもとづいたメンタルヘルス対策を実施している ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施し、全社員に周知している			3															
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・長野県「社員の子育て応援宣言企業」（2019年～） ・多様な人材が活躍できる働きやすい環境整備に取り組んでいる ・柔軟な勤務体系の導入で働き方改革を推進 ・65歳までの再雇用制度、65歳以上の高齢者の継続雇用制度も導入済み ・【予定】多様な人材の活躍状況をHPや広報誌等で積極的に発信する					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・教育・訓練の年間計画を策定し、階層・職種に応じた教育を実施している ・通信教育受講料の補助、資格取得奨励金の支給を行っている				4	5.5			8	9									
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・人事考課規程、賃金規程等の整備済み					5.5			8.5		10.2 10.3								
	10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・社員の心のケアのため、何でも話せる職場環境を整える ・社員への健康情報を発信し、健康意識を高める ・社員の心と身体の健康づくりのため、日ごろから体			3					8										
環境・資源	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物を種類ごとにまとめて出すように管理している													11.6	12.4		14.1		
	12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・廃棄物を種類ごとにまとめて出すようにする事で、ゴミ袋を削減している								7.3						13				
	13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・温室効果ガスの排出抑制のため、冷暖房設備を順次最新の機器へ置き換工事を行なっている ・社内のライトを順次LEDに変更している								7.2 7.3					12.4	13.3				

14	■	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	非該当		3.9		6.3				11.6	12.4		
15	環境	■【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	非該当			6.6							15	
16	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・両面コピーの励行、電子掲示板や電子メール利用など、ペーパレス化によるコピー用紙の使用量削減に取り組んでいる ・ミスコピー紙や片面コピーを行ったのち不要となつたコピー用紙は、保管し、内部用紙やメモ用紙などに再使用（裏紙使用）を行っている ・封筒、ファイル、フォルダーなどは、繰り返し使用している ・不要となつた事務用品、事務机などは、他の部署などで再使用している								12.5	14.1		
17	■	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	非該当		6.4	6.6								

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
公正な事業慣行	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	非該当				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	非該当														12.6				
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	非該当										7.2				13				
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・環境や社会に配慮されている再生紙の利用を実施している													12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・TIC行動憲章を定め汚職・贈収賄を禁じている ・コンプライアンス教育を実施している																16	16.5	
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・TIC行動憲章を定め不正競争行為への関与を禁じている ・コンプライアンス教育を実施している																16		
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・新規事業の検討において、法務担当及び弁護士が協力して契約書の締結・特許申請等を検討するとともに、特許侵害調査を実施している									8.2	8.3	9							
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報保護方針を定め社内に周知している ・「個人情報保護方針」を定めホームページ等で公表し、体制を整備している ・個人情報を含む書類は専用の金庫とキャビネに入れて施錠管理し、サーバー上の個人情報データはパスワードで管理している ・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している																	16	
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・教育機関のため、紛争鉱物は取り扱っていない																	16	
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・教育機関のため、サプライチェーン管理は行なっていない							5		8	10	12	13	14	15	16	17		
	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・定期的に受講生からのアンケートや意見、感想、指摘された点を全体で共有し、改善を行なっている			3.9											12.4				
	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・民間教育訓練機関における職業訓練サービスガイドライン研修取得									9									
製品・サービス	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・教育機関のため、環境に配慮した製品開発、サービスの開発は扱っていない						6						12	13	14	15			
	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・社会課題解決をテーマとした訓練サービスの企画・提供し、推進している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域との対話(学園祭・制作展)や企業コラボを実施し、対話に基づき地域との関わり把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17	
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の産業振興の取り組みに対して、人的支援を含めて積極的に参画している ・長野中央ライオンズクラブ会員として地域等の奉仕活動に積極的に参加している				4							11			14	15		17	
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	非該当									8	9	11	12	13					
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念、経営目標を社内で共有している									8	9							17	
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・法令順守状況の確認を実施(2ヶ月に1回/年6回)している ・全社員を対象としたコンプライアンス教育を実施している																	16	
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・主管に総務部を任命 また職員全員が意識している																	16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・顧客満足度調査を行い、ステークホルダーに及ぼす影響を把握し、必要に応じて対策を検討している																16	17	
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・定期的に実施する受講生からのアンケートで指摘された問題点は即改善を行ない、翌年のシラバスに生かしていく																	16	
40	□	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・当施設が地域コミュニティー的な存在となるよう、全社員の意識の中に責任感を持たせて業務に取り組ませている ・CSR方針(行動規範)に合致した経営理念のもとに、CSR活動をしている ・【予定】HPでの活動情報の開示を行う																	16	
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事業継続計画を策定している									9		11		13	13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・経営層の人材育成を計画的に行っている									8	9								17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【人権・労働】全ての人に対し、生涯学習の機会を推進している				・年齢、性別、学歴等に関係なく、生涯学習の機会を促進している	1			4	5			8									
【人権・労働】有給休暇を取得しやすい職場環境づくりに努めている				長野県「社員の子育て応援宣言企業」(2019年~) ・健康管理等の側面からも、有給休暇を取りやすい職場環境を構築している			3		5			8									
【人権・労働】女性が活躍でき、働きやすい職場環境づくりに努めます				長野県「社員の子育て応援宣言企業」(2019年~) ・自由出勤制度の構築により、自身に合った働きができるようにしている	1		3					8									

【人権・労働】時間外労働を削減し、仕事と家庭や子育ての両立支援に努めます	長野県「社員の子育て応援宣言企業」（2019年～） ・保育園や学校での緊急的な事案に対しての支援として業務の一時外出を許可している ・子育て両立支援の一環として、状況に応じて子供同伴出勤制度を構築している	1	3	5	8									
--------------------------------------	--	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO<sub>2</sub>吸収評価認証制度、長野県県産材CO<sub>2</sub>固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）